

平成 22 年度

教育委員会活動の自己点検・評価報告書

平成 23 年 5 月 9 日

桂川町教育委員会

平成 22 年度 桂川町教育委員会活動の自己点検・評価報告

I．目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条の規定により、平成 22 年度桂川町教育委員会がその権限に属する事務の執行状況の自己点検 ・評価を行いましたので、その結果を公表いたします。

II．点検評価内容

大項目	中 項 目	小 項 目	点 検 ・ 評 価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議	①教育委員会会議開催の回数	毎月1回、年間12回の定例会及び1回の臨時会(学校管理職候補者のための面接・評価)を開催した。(別紙 1-(1)-①)
		②教育委員会の運営上の工夫	常に委員全員が共通認識・共通理解が持たれるよう、教育長の報告の下に連携をとってきた。
	(2) 教育委員会と首長の関係	○教育委員会と首長との意見交換の実施	より良い教育行政に向けて教育委員会の運営や教育現場の現状・課題を報告、教職員研修の持ち方について相談してきた。
	(3) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	県教育委員会、県教育委員会連絡協議会、PTA関係、その他諸機関の研修会など全員の参加体制をとってきた。なお、先進地への視察研修を本年度は実施できなかったが、来年度はぜひ実施したい。(別紙 1-(3))
	(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	年度初めの教育委員会独自の各校訪問及び、筑豊教育事務所の授業充実訪問時において指導助言、「学校開放日」の訪問指導等を行った。(別紙 1-(4))
		②所管施設の訪問	随時必要に応じて訪問や報告を受けているが、本年度は教育委員そろっての視察は実施できなかった。
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること	「桂川町教育課題と目標」の内容を各校長に指導、指示を行った。	
	(2) 教育委員会規則・規定を制定し、又は改廃すること	規則・規程等を4本制定(一部改正)した。(別紙 2-(2))	
	(3) 教育予算に関すること	教育活動が円滑に進むように、校長からヒアリングを行い改善努力をしてきた。また教育予算について町長と協議し、共通理解に努めた。	
	(4) 生涯学習に関する学習機会の提供	社会教育・社会体育等の学習機会を提供し、生涯学習の充実に努めた。 (別紙2-(4))	
	(5) 校長の人事の内申に関すること	校長の業績評価及び自己評価その他資料を中心に教育委員会で厳正に評価し、内申してきた。	
	(6) 県費負担教職員の人事の内申に関すること	校長の具申を尊重し、内申してきた。	
	(7) 教育委員会の所管に関する各種委員会の委員の任命、または委嘱に関すること	本年度は7件。社会教育課・学校教育課及び必要に応じて学校長と合議の上、円滑に進めてきた。(別紙2-(7))	
	(8) 教科用図書の採択の決定に関すること	小学校教科用図書の採択に際し、関係法令及び筑豊教育事務所管内の申し合わせ事項などを順守し決定した。	
	(9) 青少年の健全育成に関すること	各種団体と連携を図り事業を実施。また、補導委員会及び青少年問題協議会等との連携を図り、青少年の健全育成に取り組んだ。(別紙 2-(9))	
	(10) 文化活動の振興と文化資源の保存・活用に関すること	王塚古墳の特別公開や民俗文化財の基礎調査を実施。また、文化連合会との連携を図り、町民文化の振興に努めた。(別紙 2-(10))	
3 教育委員会が教育長に委任する事柄	(1) 豊かな心と確かな学力を育む学校教育の充実	① 学力の向上を図る教育の充実	県指定学校支援プロジェクト事業(桂川小)の推進を図るとともに、条件整備面での支援、学校訪問時の指導助言等を行ってきた。
		② 心の教育を支える生徒指導の充実	各校の教育目標の重点課題として捉え、指導の徹底を指示してきた。
		③ 読書活動の充実	読書タイム、ボランティアによる読み聞かせの実施などに努めた。
		④ 子ども一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進	文科省の施策に基づき、各校に特別支援教育支援員及び介助員を配置するなど尽力した。
		⑤ 開かれた学校経営の推進	学校開放日(各学校年3回)の設定及び広報「けいせん」に教育情報「桂川っ子」を3校1園で順番に掲載し、開かれた学校づくりに努めた。
		⑥ 指導力アップをめざした研修会の実施	指導主事を招聘し、教頭と主幹教諭合同の研修会を3回、全教職員対象の研修会を1回実施した。
	(2) 地域ぐるみで支え合う教育活動の充実	○子どもの生きる力を育む家庭・地域の教育力の向上	「生き生き桂川っ子」総合推進事業による取り組みを行うとともに、地域への協力依頼や広報「けいせん」に関係記事を掲載した。(別紙 3-(2))
・評価 総合点検	教育委員5人が互いに連携し、定例教育委員会や臨時教育委員会で学校教育、社会教育に関する意見交換をし、円滑な教育行政の在り方や町教育の向上に努めてきた。全体としては望ましい方向へ進んできているので、さらに努力を続けていきたい。		

教育委員会会議（定例会）の内容

1－（１）－①

回	月 日	協 議 事 項	報 告 事 項	連 絡 事 項
1	H22.4.26	・平成21年度「桂川町教育委員会事業評価、結果報告」について ・平成22年度「桂川町教育行政の目標と主要課題」について ・平成22年度「幼稚園、学校教育基本計画」について ・桂川町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について	・全国学力、学習状況調査 ・管内人事推進委員会（4/21） ・管内教育長会報告 ・市町村教育委員会連絡協議会総会（4/23 県庁） ・「望ましい生活習慣の定着について」の配布 ・22年度教職員の人事異動 ・21年度中学校進路状況	・教育委員会緊急連絡網 ・王塚古墳春の一般公開（4月17日～18日） ・学校給食アレルギー対策会議（4月19日） ・当面の行事予定
2	H22.5.25	・平成22年度「桂川町教育委員会定例学校訪問」について	・第11地区教科用図書採択協議会（4/26） ・第1回教科用図書調査研究協議会（4/28） ・第2回教科用図書調査研究協議会（5/18） ・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題に関する実態調査（4月報告分） ・福岡県内学校教育担当課長会報告（5/24）	・桂川中学校体育会（5/26） ・猿の出没について（豆田） ・子ども会リーダーキャンプ（6/5～6/6 湯の浦キャンプ場） ・学校給食共同調理場連絡協議会（5/19） ・当面の行事予定

3	H22.6.25	・県人権同和教育研究大会（10/16～10/17） ・桂川町青少年問題協議会規則の一部を改正する規則の制定について	・6月定例議会報告（6/16～6/22） ①幼保一元化 ②子宮頸がんワクチンの中学生への無料接種 ・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題に関する実態調査（5月報告分） ・第1回幼稚園運営審議会（5/26） ・文教厚生委員会報告（6/9） ・第2回幼稚園運営審議会（6/23）	・桂川中学校学校訪問（6/14） ・「生き生き桂川っ子」総合推進事業協議会（6/21） ・町内校長会（6/22） ・幼稚園訪問（6/23） ・町学同推総会（5/27） ・三校スポーツ大会（6/12） ・社会教育委員総会（6/15） ・当面の行事予定
4	H22.7.26	・「あいさつ運動」について （平成21年12月 社会教育委員からの建議）	・第3回教科用図書調査研究協議会（7/6） ・第12回教育関係者・保護司会懇談会（7/9） ・緊急市町村教育長会（7/9） ・管内教育長会報告 ・第3回幼稚園運営審議会（7/21） ・生徒指導上の諸問題実態調査結果（6月分）	・第1回共同調理場運営協議会（6/29） ・桂川小学校定例学校訪問（6/30） ・第1回「生き生き桂川っ子」あいさつ運動（7/6） ・第1回教頭・主幹教諭研修会（7/7） ・町内校長会（7/15） ・筑豊地区市町村教育委員会連絡協議会研修会（7/21） ・装飾古墳連絡協議会（6/30） ・第2回図書館協議会（7/10） ・通学合宿（7/12～7/18）

5	H22.8.25	・桂川町民生委員推薦会委員の推薦について ・11地区教科書採択協議会	・第1回人事ヒアリング(8/4) ・嘉麻市教育センター開所式 (旧嘉麻市教育研究所) ・市町村教育委員会連絡協議会教育 長研修会(8/17～8/18) ・第4回幼稚園運営審議会(8/24) ・生徒指導上の諸問題実態調査結果 (7月分)	・第2回教頭・主幹教諭研修会 (8/10) ・「生き生き桂川っ子」学校部会研 修会(8/20) ・110番の家デモンストレーシ ョン(8/21) ・子ども会球技大会(8/1) ・解放子ども会・中学研合同研修 会(8/10) ・夏まつり桂川2010(第15回) ・第53回福岡県民体育大会(8/22) ・第19回桂川町民ゴルフ大会 (8/28)
6	H22.9.27	・桂川町適正就学指導員会設置規則の全部を改正す る規則の制定について	・管内教育長会報告 ・町内校長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査結果 (8月分)	・図書館協議会(9/4) ・第2回通学合宿(9/6～9/12) ・筑豊地区「子どもの読書」推進 ボランティア交流会(9/7) ・第15回教育シンポジウム(9/17) ・第53回福岡県民体育大会 (秋季大会 9/18～9/19) ・子ども会親子釣り大会(9/18) ・当面の行事予定

7	H22.10.25		・管内教育長会議報告 ・生徒指導上の諸問題に関する実態調査（9月分） ・第5回幼稚園運営審議会（9/22） ・幼稚園、小学校のHP掲載	・就学前健康診断（10/20） ・第19回町民ゴルフ大会（8/28） ・第2回通学合宿（9/6～9/12） ・子どもの読書推進ボランティア交流会（9/7） ・第15回教育シンポジウム（9/17） ・第53回福岡県民体育大会秋季大会（9/18～9/19）
8	H22.11.25	・桂川町立桂川小中学校就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について	・管内教育長会議報告 ・町内校長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査結果（10月分） ・福岡県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業（文化財歴史資料等デジタル化業務委託）	・わくわくスポーツ体験塾（毎月1回 土曜日） ・王塚古墳秋の一般公開（10/16～10/17） ・第52回分館対抗ソフトボール大会（11/7） ・当面の行事予定

9	H22.12.27	・教育委員長の選任について (青山委員長再任) ・あいさつ運動について	・管内教育長会議報告 ・町内校長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査 (11月分) ・町長・町議会議員選挙の結果 ・町議会の編成について	・町政施行70周年写真展 (10/13～11/28) ・桂川町文化事業(鶴田バレエ団公演)(11/28) ・嘉麻・飯塚・桂川地区人権啓発交流フェスティバル(12/5) ・人権・同和問題地域懇談会全体反省会(12/6) ・青少年問題協議会(12/8) ・社会教育委員会(12/10) ・当面の行事予定
10	H23. 1.25	・あいさつ運動について	・管内教育長会議報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査 (12月分) ・教職員人事異動の進捗状況 ・桂川幼稚園運営協議会答申について ・修学旅行町補助金の廃止について ・幼稚園、小中学校の町HP掲載について	・卒業(園)式、入学(園)式の日程について ・桂川町成人式(1/10) ・新春押し花作品展 ・当面の行事予定 ・当面の行事予定

11	H23. 2.25	・規範意識についての小中学校連携について ・23年度桂川町教育行政の目標と主要施策について	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（1月分） ・修学旅行町補助金の廃止について（途中経過報告） ・桂川町隣保館の名称、管理等の変更について	・年度末・年度初の行事予定について ・社会教育関係施設の年末年始の休館日の変更について ・第16回桂川町卓球大会について（3/6） ・青少年問題協議会について（3/7） ・当面の行事予定
12	H23. 3.25	・23年度幼稚園・学校教育基本計画について	・管内教育長会議報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（2月分） ・3月議会についての報告	・22年度卒業生進路結果について ・インフルエンザの発生状況について ・桂川町人権センターの設置及び管理に関する条例制定について ・桂川町総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・社同だより「けいかん」の発行について（第40回人権・同和問題地域懇談会のまとめ） ・当面の行事予定 ・23年度嘉飯地区中学校体育連盟春季大会日程等について

教育委員会会議（臨時会）の内容

○平成22年11月17日（水） 県費負担教職員管理職任用試験受験者の面接実施
（桂小1人・桂東小1人・桂中3人）

1－(3)

平成 22 年度 教育委員研修会等への参加状況

No.	内 容	日 程	研 修 先
1	福岡県市町村教育委員会連絡協議会	4 月 23 日	福岡市
2	筑豊地区市町村教育委員会連絡協議会総会	7 月 21 日	飯塚市
3	子育てを考える地域懇談会	7月21～23 日	各行政区
4	教育委員(女性管理職)研修会	8 月 4 日	嘉麻市
5	女性教育委員研修会	8 月 6 日	福岡市
6	市町村教育委員会連絡協議会研修会	8 月 17 日	福岡市
7	人権同和研修会	9 月 7 日	嘉麻市
8	教育シンポジウム	9 月 17 日	住民センター
9	社会教育委員研修会	10 月 5 日	住民センター
10	飯塚1中研究発表会	11 月 5 日	飯塚市
11	碓井中研究発表会	11 月 22 日	嘉麻市
12	人権啓発交流フェスティバル	12 月 5 日	嘉麻市
13	筑豊ブロックPTA研修会	12 月 19 日	飯塚市
14	福岡県市町村教育委員会連絡協議会	1 月 26 日	福岡市
15	筑豊地区家庭科研究発表会	1 月 28 日	嘉麻市
16	筑豊地区教育力向上フォーラム	1 月 29 日	飯塚市
17	筑豊地区市町村教育委員会連絡協議会総会	2 月 18 日	飯塚市

1－(4)

平成 22 年度 教育委員学校訪問

No.	内 容	日 程	訪 問 先
1	体育会	5 月 26 日	桂川中学校
2	幼稚園学習発表会	5 月 30 日	桂川幼稚園
3	中学校訪問	6 月 14 日	桂川中学校
4	中学校授業公開	6 月 17 日	桂川中学校
5	幼稚園訪問	6 月 23 日	桂川幼稚園
6	小学校訪問	6 月 30 日	桂川小学校
7	小学校授業公開	7 月 2 日	桂川東小学校
8	小学校授業充実学校訪問	9 月 17 日	桂川東小学校
9	小学校運動会	10 月 5 日	桂川小学校
10	中学校研究発表会	10 月 22 日	桂川中学校
11	文化発表会	10 月 29 日	桂川中学校
12	小学校授業公開	11 月 12 日	桂川小学校
13	桂東文化祭、学年ステージ発表	11 月 20 日	桂川東小学校
14	小学校授業公開	12 月 9 日	桂川小学校
15	生活発表会	12 月 12 日	住民センター
16	小6王塚太鼓発表会	12 月 13 日	住民センター
17	小学校授業公開	2 月 10 日	桂川東小学校
18	音楽発表会	2 月 20 日	住民センター
19	小学校授業公開	2 月 26 日	桂川小学校

2-(2)

教育委員会規則等の制定

制定年月日	規則等の種別	規則等の名称
平成 22 年 5 月 14 日	要 綱	桂川町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
平成 22 年 7 月 7 日	規 則	桂川町青少年問題協議会規則の一部を改正する規則の制定について
平成 22 年 10 月 1 日	規 則	桂川町適正就学指導員会設置規則の全部を改正する規則の制定について
平成 22 年 12 月 1 日	要 綱	桂川町立桂川小中学校就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

2 - (4)

生涯学習に関する学習機会の提供

桂川町社会教育委員の会議の活性化

事業名	桂川町社会教育委員の会議の活性化事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	社会教育委員の会議の活性化のため、多くの課題を提示し、委員の意見の集約を図ると同時に委員の研修を実施する。
事業実績	平成21年5月から新委員の構成で、本年度は2年目にあたり委員から活発な意見が出された。また、筑豊地区社会教育委員ブロック別研修会の担当町として住民センターにおいて開催し、事例発表を行った。筑豊教育事務所や各種研修等にも積極的に参加し、町教育委員との意見交換会も行った。
総合評価	社会教育委員として何をすべきかを、委員全体で考える姿勢ができている。研修会等に参加することにより、他市町村の社会教育委員との交流、情報交換で参考になることは積極的に取入れている。教育委員会にも出席し、社会教育委員としての意見も述べる機会もあり、これからも社会教育関係に対しての助言・指導を行っていくことが期待できる。

住民センターの運営

事業名	住民センター運営事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	住民センターの利用促進を図る。
事業実績	住民センターの利用頻度は、近隣市町と比してかなり高いものとなっている。毎週・毎月定例で開催されているサークルをはじめ、定期演奏会、学校活動（PTA活動を含む）、各種会議等で、ほとんどの部屋が利用されているため、臨時的利用者が利用できない状況も散見される。
総合評価	本年度、年末年始の休館日の変更を審議し、23年度規則の改正を行う予定である。これにより12月28日・1月4日も利用できるようになり、住民サービスの拡充になると思われる。

高齢者生きがい事業

事業名	ことぶき大学講座事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	60歳以上の住民を対象に、生きがいづくり・生涯学習の充実を図るため園芸・習字・民謡・陶芸・教養の各講座を実施。
事業実績	各講座とも盛況であり、毎年各講座を受講される生徒が増えている。
総合評価	各講座とも出席率が高いが、同じ人が毎年同じ講座を受講していること

	も多く、募集方法を検討し、新たな受講生を増やすことも課題だと思われる。その一環として２３年度の書道においては、初心者コース・経験者コースを設け募集を行う予定である。今後は、講座の種類も検討が必要であるし講師も高齢化しているため、人材の発掘も必要と思われる。
--	--

ボランティア人材の確保を図る

事業名	ボランティア人材バンク事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	各種事業におけるボランティアの確保
事業実績	各種事業を行うための人材を確保することは、多様な技能を持つ個人・団体の協力が必要となる。また、子ども向けの事業を行うときは見守りの人材も必要である。本年度は中学校からの要請を受け、主に学校事業を支援する学校支援ボランティア登録も新たに始めた。そのため、町広報紙やポスターを作成しボランティア登録の呼びかけを行った。また、町社会福祉協議会のボランティア登録者とも連携し、多種多様な人材の確保に努めた。
総合評価	夢・人・未来塾を始め、夏休みの子ども達の見守り事業や通学合宿では、多くの方々にも協力をいただいた。また、町社会福祉協議会のボランティアの協力により、福祉体験塾も開設するなど、他のボランティアとの連携もできている。しかし、町内には多くの特技を持った方々が在住されていると思われるので、その発掘に努めなければならない。そのための、ネットワークづくりも必要と思われる。

社会教育における学校支援

事業名	社会教育における学校支援事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	学校に対する学校支援ボランティアの登録の推進を行い、ゲストティーチャー派遣や出前塾による「ものづくり体験」等にボランティア派遣を実施する。
事業実績	学校支援ボランティア登録は徐々に増えつつあり、授業や部活に講師や指導者を派遣している。また、小学校からの世代間交流等体験授業の手伝いを実施している。その内容は、昔遊び、陶芸、ものづくり等が主なものであり、ことぶき大学受講生にも依頼している。
総合評価	学校支援には、多くの支援メニュー（学習支援・部活支援・図書補助・環境整備・登下校の安全確保等）が必要とされる。学校支援ボランティア登録を推進し、学校の要請にこたえられる様、学校の年間カリキュラムに沿った支援体制を確立する必要がある。

桂川町婦人会活動への助成

業名	桂川町婦人会活動助成事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	婦人会活動支援のための助成
事業実績	近年の女性を取り巻く状況に鑑み、活発に、婦人の意識向上を図るための、各種学習会・研修会を開催してきた。また、町の各種事業開催時には、多くの協力を行った。「どんたく」参加等、県の婦人連合会へも参加協力している。
総合評価	婦人の意識向上・生活向上を目指し活発な活動を行っている。本年度は「子宮頸がん」の研修会も実施し、婦人会のみならずPTAの母親も参加した研修会となり、子育て支援にも還元する取り組みとなっている。健康、食育、環境等多くの課題に対する学習会・研修会を催し、町の行事にも積極的に参加協力を続けている。今後も、会員の確保・拡大に取り組む必要がある。

嘉穂総合高校との連携

事業名	嘉穂総合高校との連携事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	町と高校との連携・協力を図る。
事業実績	住民センターでは、通学合宿の食材を、嘉穂総合高校から購入し、子ども達に高校生が作った野菜や卵を紹介した。同校のボランティアサークルに夢・人・未来塾の子ども達との指導者を依頼したが実現されなかった。しかし、ふれあい市場の農産物販売は定着しており、行政区の中には学生と花を植えているところや小学校で子ども達と園芸をしたり、総合高校に期待するところは大きい。
総合評価	総合高校は多様な学科を持ち、各種イベントや事業にとっても、魅力ある存在である。子ども達との交流では、動物とのふれあい等に高校生の協力を得られた。これからも、各種イベント等高校生の力に期待し、協力を依頼していきたい。また、高校の先生をはじめ、多くの高校PTA（保護者）の連携・協力が得られたことは、町の青少年育成において大きな成果であった。

公民館分館活動助成

事業名	地域公民館事業助成金事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	公民館分館（地域公民館）の活動に対する助成

事業実績	34 公民館分館活動に対し定額の助成を行う。
総合評価	分館長からは、少ない予算ではあるが、分館の維持・活動には大いに役に立つとの声がある。本年度は土師二区が自主防災組織を設置した。また、大小の分館があり、多くの事業を行っている分館、あまり活発でない分館等、分館毎に差異がみられる。分館事業へ社会教育として、今後とも支援していかなければならない。

スポーツ振興に向けた体育指導委員の養成・育成

事業名	体育指導委員事業
担当課係	社会教育課・社会体育係
事業概要	体育指導委員の指導力アップと他市町でのスポーツ活性化事業等の学習のため、毎月1回の定例会の開催、各種研修会に参加。それを基礎に、町民に対し事業展開を図るため、事業の広報・企画・運営・実施を行う。
事業実績	毎月1回の定例会を実施し、ニュースポーツを始め多種多様なスポーツの振興に努めた。また、各分館の主催するスポーツ交流会に指導員として参加。昨年度は、小学校が取り組んでいる体力テストにも、体力テスト判定員として協力し、学校と連携した体力アップ事業に努めた。また、組織の取り組みとして、ニュースポーツイベント（「ペタンクを楽しもう!!」）や、「ときめきウォーク in けいせん（ウォークラリー）」を継続開催。また、子どもを対象とした「わくわくスポーツ体験塾」（親子運動セミナーから名称変更）を実施するなど幅広い年齢層の町民へのスポーツ普及・発展に努めた。
総合評価	体育指導委員10名で、多くの事業に取り組んでいるが、体力テストにおいては、学校への派遣等が平日のため、指導委員の配置が困難な状況。また、独自の事業は、毎回好評であり、継続実施することで町民のスポーツ発展と健康増進に寄与されるものと思われる。

社会体育における各種教室・大会

事業名	各種運動教室実施事業
担当課係	社会教育課・社会体育係
事業概要	多くの町民の健康保持のため、スポーツに親しんでいただくことを主眼に、各種スポーツ教室及びスポーツ大会を実施する。
事業実績	健康体操・ウォーキング・ソフトエアロ教室を総合体育館で開催した。実績として、平成20・21年度に開催したファミリーバドミントン・バウンドテニス教室においては、教室終了後クラブ化し、現在は、各種大会に出場するなど活発的に活動している。 また、スポーツ大会は、体育指導委員会や体育協会と連携し、県民体育大会をはじめ、多くのスポーツ大会を実施・参加し、一人でも多くの町

	民がスポーツを通じ健康増進が図れるよう努めた。
総合評価	各種教室は、定員になるほど参加者数が多く好評であるが、固定参加者にならないよう工夫する必要がある。 町民のスポーツに対するニーズに応えるため、各種教室を開催しているが、事業の見直しを逐次行い、新規事業・継続事業・廃止事業の見極めを図らなくてはならない。 また、体育指導委員会、体育協会、夢・人・未来塾との連携を図り、事業の整合性を図る必要がある。

体育施設の有効利用と施設管理

事業名	体育施設管理・運営事業
担当課係	社会教育課・社会体育係
事業概要	体育施設（総合体育館、総合グラウンド、テニスコート、第一町民グラウンド、全天候型ゲートボール場、グラウンド・ゴルフ場、勤労者体育センター、各学校体育館及び運動場、湯の浦総合キャンプ場）をいかに有効利用するか。また、利用しやすい施設にするか取り組む。
事業実績	各施設とも概ね定期的な利用をいただいている。しかし、老朽化が進んだ施設が多く、今後、補修等の必要がある。 総合体育館は、町内のクラブチームが定期的な練習を行っており、土・日には小学生から大人まで多種多様な大会が開催され、大いに賑わっている。屋外施設においては、天気によって左右されるもののクラブチームの練習や各種大会が開催された。 また、グラウンド・ゴルフ場は、町内外問わず土・日・祝日に限らず平日の利用も多く、様々な大会が開催されるなど好評である。
総合評価	総合体育館は、アリーナも広く、また、駐車場が広いことから、総合グラウンドと同様、福岡市や北九州市の中心地という面もあり、多種多様な大会が開催され、利用者が多い。逆に、個人スポーツとしての利用が困難な状況であるため町民スポーツの普及・発展のためにも検討の必要がある。グラウンド・ゴルフ場は、県内でも数少ない認定コースであり、町外の利用も多い。今後も利用者数増に向け、十分な整備が必要である。 また、全体的に経年劣化による施設の修繕箇所が発生しているため、年次計画で施設改修を行う必要がある。

桂川町体育協会活動への助成

事業名	桂川町体育協会活動助成事業
担当課係	社会教育・社会体育係
事業概要	体育協会活動・運営に対する助成
事業実績	平成19年7月発足後、分館対抗バレー・ソフトボール等、町全体での

	大会を町より引き継ぎ開催してきた。また、13種目・44団体（701名）クラブ団体の活動支援等を行い、専門部の主管する大会の開催など、活動も年々邁進している。平成23年度から、加盟クラブである少年サッカー・ミニバスケットクラブが、これまであまりスポーツを楽しむ機会を得なかった多くの方に、「e-場所で、e-人と、e-スポーツを」楽しむ環境を提供する総合型地域スポーツクラブ「e-sport けいせん」を立ち上げ、協会としてバックアップしている。また、毎年、県民体育大会（夏季・秋季）に多種目で継続参加し、資質向上に繋がっている。役員・会員等の意識・資質向上のための研修会も取り入れ、協会の独自性を発揮できるよう努めている。
総合評価	予算面では、苦しい状況ではあるが、協会加盟団体の理解・協力により、無事事業を消化している。これからも、いろんなスポーツ団体／競技がでてくることから、会員・団体の協会加盟を図ることが必要である。また、体育協会の主体的活動として子ども達の体力強化に向けた取り組みも期待される。

図書館事業の充実

事業名	図書館利用促進事業
担当課係	社会教育課・図書館係
事業概要	図書館主催事業を積極的に展開する。 大人や子ども達の作品展を招致開催する。 インターネットを開設し、常に新しい情報を利用者に提供する。
事業実績	図書ボランティアによるおはなし会、文学講座、図書館まつり等好評である。また、毎月発行の広報「けいせん」に図書館だよりを掲載し、ポスター・チラシと共に周知徹底を図る。 町内の小・中学校のオンライン化による書誌情報の共有化や相互貸借による他館との連携で利用者のニーズに応えている。
総合評価	図書司書、図書ボランティアの連携により、子どもから大人まで読書に親しむ活動を推進している。また、情報化社会により、「読書離れ」が指摘される中、少しでも多くの町民に対し、図書館利用の促進を図らなければならない。また、それと同時に司書・図書ボランティアの各種研修及び自己研鑽にも努めなければならない。今後の取り組みとしては、「子ども読書活動推進計画」の策定に早急に着手する必要がある。

ブックスタート事業

事業名	ブックスタート事業
担当課係	社会教育課・図書館係
事業概要	乳児期から読書に親しむための啓発活動に取り組む。

事業実績	健康福祉課と連携して、4 カ月乳幼児健診時に赤ちゃんと保護者に趣旨の説明並びに本の読み聞かせ後に 2 冊の絵本を手渡す事業であるが、概ね好評である。なお、4 カ月乳児健診に来れない人たちには、本を取りに来て頂くように通知し、また保健師の訪問時にことづけている。次年度は、ブックスタート事業の推進・充実を図る。
総合評価	図書ボランティアの協力と、健康福祉課との連携で事業を行う。概ね好評であるが、この事業を更に発展させ理解を深めていただく手立てが必要である。

人権・同和教育の啓発活動の推進

事業名	人権・同和教育の推進・啓発事業
担 当 課 係	社会教育課 隣保・人権同和教育係
事 業 概 要	町民に対し、各種講演、人権教育を実施し、差別のない町づくりの推進を図る。
事 業 実 績	大きな取り組みとしては、7 月に「人権講演会」、10 月に「人権・同和問題地域懇談会」、12 月には、「嘉飯桂人権フェスティバル」を実施し、町民に、人権問題に対する啓発を行ってきた。 また、22 年度より出前講座の取り組みや、広報紙への人権啓発記事の連載開始（平成 23 年 1 月号より）などを新たに始めた。
総 合 評 価	近年は、同和问题からすそ野を広げ、人権全体の問題を、一つひとつ具体的問題として取り上げてきた。様々な人権問題、気が付かなかった人権問題などを町民に啓発することで、地道ではあるが効果をあげてきている。 地域懇談会の参加者が減少しているものの、若い人達の参加もあり今後とも、参加しやすい状況や広報を利用したより一層の啓発活動などを図らなければならない。

2－(7)

委員会の所管に関する各種委員会の委員の任命、委嘱

委嘱年月日	任 期	委 嘱 名	委嘱者数
平成 22 年 4 月 1 日	1年	桂川町学校評議員	9人
平成 22 年 4 月 1 日	2年	桂川町学校給食共同調理場運営委員	4人
平成 22 年 4 月 1 日	2年	桂川町公民分館長	34人
平成 22 年 4 月 1 日	2年	社会教育委員	1人
平成 22 年 6 月 1 日	3年	桂川町青少年補導員	11人
平成 22 年 6 月 1 日	3年	桂川町青少年問題協議会委員	8人
平成 22 年 11 月 25 日	2年	桂川町文化財保護審議会委員	2 人
平成 22 年 11 月 25 日	2年	王塚古墳テーマパーク運営企画委員会委員	2 人
平成 22 年 11 月 26 日	2年	社会教育委員	1人

※備考

委員会等名称	任 期	委員数
桂川町学校評議員	平成22年4月1日～平成23年3月31日	9人
桂川町学校給食共同調理場運営委員	平成22年4月1日～平成24年3月31日	4人
桂川町公民分館長	平成22年4月1日～平成24年3月31日	34人
桂川町文化財保護審議会	平成22年4月1日～平成23年3月31日	5人
王塚古墳テーマパーク運営企画委員会	平成22年5月1日～平成23年4月30日	8人
桂川町青少年補導員会	平成22年6月1日～平成24年5月31日	46人
桂川町青少年問題協議会	平成22年6月1日～平成23年5月31日	26人
桂川町社会教育委員	平成21年5月 25 日～平成23年5月24日	10人

2 - (9)

青少年の健全育成に関すること

子ども達の居場所づくり

事業名	ひまわりアンビシャス広場事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	桂川東小学校体育館において、地域の大人が放課後子ども達の見守りを行う。
事業実績	毎週木・土曜日、毎月第一日曜日に広場を開設している。子ども達は体育館で自由に時間を過ごし、大人も一緒に遊びながら見守りを行っている。21年度は県の表彰を受け、本年度新たに茶道も取り入れている。
総合評価	子ども達は、自由な時間を学校の体育館で過ごし、健やかな時間を過ごしている。また茶道・日本舞踊・俳句などを通して、礼儀作法なども身につけている。しかし、見守る大人の年齢が高く、後継者不足になりつつある。今後の事業推進・継続には、後継者の発掘と、担当課・学校との連携強化を図らなければならない。

子ども達の体験教室

事業名	夢・人・未来塾事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	登録された講師・ボランティアを中心に、放課後児童対策・こどもの見守りを基本に、各種体験教室を実施。
事業実績	小・中学生を対象に、13種（華道・茶道・料理・木工手芸・絵手紙・バウンドテニス・卓球・福祉体験・グラウンドゴルフ・カヌー・陶芸・自由塾・きんしゃい塾）15教室を実施、多くの参加者を得ている。
総合評価	始めと終わりの挨拶からきちんとできている。各講師陣も生活の基本を中心に塾の運営に取り組んでいただいた。自由塾では楽しく自由に遊ぶもの、自然体験を主としたもの等、塾の運営委員会で協議し決定したことは良かった。県の国際交流派遣事業を通じてペルーの人との交流や、本年度3月から23年度にわたる農業体験塾など子どもたちに新たな体験を提供している。しかし、開催場所等の関係で、東小学校児童の参加者が少ないことをが課題。東小等の要請により出前塾で対応してきた成果を今後とも継続する。

通学合宿

事業名	通学合宿事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	小学6年生を対象に7月に6泊7日、9月に6泊7日の2回、住民セン

	ターを中心に通学しながら合宿を行う。
事業実績	7月には桂川小の児童11名・9月には桂川小8名、桂川東小5名計13名の児童が参加し、合計24名の児童が、1週間を通して日常の生活やキャンプ場での自然及び野外活動を体験した。
総合評価	合宿生は自分達で食事・洗たくを行い、皆で協力しながら、決められたルールを守り、テレビもゲームも無い生活を住民センター・キャンプ場で行う。多くのボランティアの方々に協力をお願いし、指導していただかないとできない事業であることが痛感させられる。本年度は2回の日程で一度に募集したためか各回の合宿生の人数は少なかったが、カヌー等少人数でしかできないことを行うことができた。また、1回目が桂川小女子のみの合宿となり、その中での助け合い、仲間づくりができたようだったが、東小との交流がないのが残念だった。終了後、子ども達の顔が晴れやかに変わったのを実感した。7月・9月で通学合宿を行ったが、9月は始業式後行事も多く、実施時期及び参加募集方法の再考が必要かと思われる。

桂川町子ども会指導者連絡協議会への助成

事業名	桂川町子ども会指導者連絡協議会活動助成事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	子ども会指導者連絡協議会活動支援のための助成
事業実績	ものづくり、リーダーキャンプ、各種スポーツ大会、魚釣り等地域子ども会との連携で事業を行ってきた。子どもたちの興味を引く事業で町内の子どもと大人の「ふれあい」に寄与した。
総合評価	地域子ども会が減少していく中、連絡協議会では地域ではできないような行事を実施し、子ども達の体験活動の場の提供している。昔ながらのキャンプから子ども達の興味を引くような新しい行事を開催するなど、「大人と子ども」や「子ども同士」のふれあいに寄与した。しかしながら、延べ参加者数は多いものの、参加する子どもは同じ顔ぶれであり、地域に子ども会の無い子ども達が参加しにくい事も現状としてある。どのように地域を盛り上げ、参加者を増やしていくかが課題である。

桂川町小中学校PTA連絡協議会への助成

事業名	桂川町小中学校PTA連絡協議会活動助成
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	各校PTA、郡PTA、筑豊PTA、県PTA活動を行うため、町小中学校PTA連絡協議会に対し活動支援のための助成を行う。
事業実績	各校での活動、三校共同での活動を始め、筑豊・県のPTA活動を積極的に取り組んできた。近年は児童・生徒の学校生活も安定化の傾向にあ

	り、これも P（親）と T（先生）の理解と協力体制が確立されてきたものである。
総合評価	親・子ども・学校（先生）・大人（地域）・行政が一丸となった取り組みがなければ、児童・生徒の健全育成は図れない。今後とも家庭・地域・学校の連携を深め、継続した取り組みが必要である。その中でも、三校 P T A が中心となり開催している「子育てを考える地域懇談会」は、重要な取り組みの 1 つとして継続することが大事である。しかし、役員以外の保護者の意識が希薄になっていることもあり、いかに保護者の参加を募るのかも課題の 1 つである。

地方青少年問題協議会設置法に基づく、青少年問題に関する体制整備と関係団体の連絡調整

事業名	桂川町青少年問題協議会事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	青少年の指導、育成、保護、及び矯正に関し、関係団体・関係機関の意見交換を行い、青少年問題について町の総合的施策の樹立を図る。
事業実績	年 3 回の協議会を開催し、桂川町の青少年問題の現状を相互認識する。また、関係団体・機関において各々の取り組みが効果的に成果を上げるため、連絡体制の整備を図る。本年度は「子ども 1 1 0 番の旗」を追加作成し、新規登録世帯の推進・旗の取り換えを行った。
総合評価	2 0 近くの団体・機関が一堂に会する青少年問題の会議は、小中学校・嘉穂総合高校を始め、関係団体・機関の状況報告により、情報の共有ができ、連携した取り組みができる貴重な会議となっている。今後は、これらの団体・機関から出された意見・要望等を総合的施策につなげ、青少年の健全育成に取り組んでいくことが望まれる。また、「生き生き桂川っ子総合推進事業」との連携も考えていく。

桂川町青少年健全育成のための助成事業

事業名	桂川町青少年補導員会活動助成事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	補導員による、青少年非行防止のための補導活動を助成する。
事業実績	毎週月曜日のあいさつ運動や新学期ごとの早朝補導、夏まつりや三期休業中の夜間補導など年間を通じて補導活動を行った。また、青パトによる町内パトロールを実施した。
総合評価	桂川町青少年補導員会は 5 班編成で構成され、各地区の補導を行っている。夏まつり開催時には小中学校及び総合高校の P T A と連携した補導活動を行い、三期休業中の各班による町内一円の夜間補導では、多くの

	児童・生徒を指導してきた。今後は、青パト（５台）による効果的な巡回補導を強化する必要がある。
--	--

嘉麻・桂川少年の船事業の支援

事業名	嘉麻・桂川少年の船参加者への助成事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	毎年８月に実施されている嘉麻・桂川少年の船の参加者に対し一定の助成を行う。
事業実績	４日間の沖縄研修ではあるが、規律正しい生活を体験することだけでなく、子どもたちに人との出会い、平和の尊さを学ぶ機会を提供し、一回り大きな児童に成長させる。
総合評価	研修を通じ、各班の協力、全体での規律正しい生活、平和学習体験等いろんな経験を積むことで、夏休み以後の学校生活は基より、人生においても大きな影響があると思われる。しかし、スタッフの人材不足が問題で存続が危ぶまれている中、本年度で事業中止となり、次年度以降の事業については未定です。

子どもの体力向上

事業名	子どもの体力向上事業
担当課係	社会教育課・社会体育係
事業概要	子どもたちの基本的体力向上
事業実績	子どもたちの健全育成のため、ミニバスケットボール教室を実施し、スポーツの楽しさを学んだり、仲間づくりや世代間交流の場となった。体育指導委員会と協力し、運動の苦手な子どもやクラブ未加入の子どもを対象に様々なスポーツを体験する「わくわくスポーツ体験塾」を実施。とび箱からニュースポーツまでの指導を行った。
総合評価	教室を開催しても、クラブや習い事等で参加者数が伸びなかったという問題点を体育指導委員会と検討し、参加しやすい日程に開催したり、興味を持つ種目を取り入れることで参加者増へと繋がったと考えられる。今後は、待っているだけではなく、出前的な事業も視野に入れ、十分な検討が必要である。また、夢・人・未来塾でも数種類のスポーツが取り入れられているが、各担当係・学校・子ども会が連携し、基礎体力向上に向けた取り組みが必要である。同時に、体育指導委員会や体育協会、更には、今年度からスタートした総合型地域スポーツクラブ「e - s p o t けいせん」とも連携を図り、協力体制の強化を図っていく必要がある。

2 - (10)

文化活動の振興と文化資源の保存・活用に関すること

地域の文化芸術の振興

事業名	文化連合会助成事業
担当課係	社会教育課・社会教育係
事業概要	文化連合会加盟のサークル等の活動助成として、連合会に対する助成事業
事業実績	文化連合会は29団体会員・6個人会員で構成され、ステージ部門中心の「文連フェスティバル」、サークル発表の場「文化祭」等を目標に活気ある活動をおこなっている。また、11月の町制施行70周年記念事業、県民文化祭と共催した町の文化事業（実行委員会形式）では中心となり、桂川町では初めてのバレエ公演を行った。
総合評価	文化連合会として事務局を持ち自立した活動ができてきている。しかし、文連フェスティバルや文化祭の事業を行うためには、町や県文化連合会等からの補助が必要である。本年度は毎年3日間行っていた文化祭を土曜・日曜の2日間に縮小したが、サークル間のコラボなど新しい試みを発表するなど充実したものであった。しかし展示部門について2日間は短い等の意見もあり、これからの課題である。各団体（サークル）の活動は活発であり、住民センターの使用も限界に近づいている。団体の割り振り等も一考が必要である。

王塚古墳の保存・活用

事業名	王塚古墳の保存・活用事業
担当課係	社会教育課・文化財振興係
事業概要	国の特別史跡である王塚古墳を、適切に保存するだけでなく、それを基に桂川町の文化的なイメージ作りの大きな柱として位置づける。これを推進するために王塚装飾古墳館で特別公開時や年間を通じて色々なイベントの開催や文化活動に際しての部屋の貸出しを行なう。
事業実績	春・秋の特別公開時に合わせ、春には地元商店街のコダジム春祭り出店の協力、フリーマーケットの開催、夢・人・未来塾による昔遊び等を催し集客に努めている。また、秋には古代の謎フェスティバルと共同で事業を実施し、町内外の方々に楽しんでもらった。また、公開時には、全国から見学者が訪れ、古墳の町をアピールできた。王塚装飾古墳館の部屋の活用については、イベントや団体への貸出しについても、徐々にではあるが利用者が出てきている。
総合評価	春・秋のイベントは、概ね成功している。しかし、マスコミ報道・天候等により集客は大きく左右されている。

	また、王塚古墳を利用した文化的なイメージ作りに関連して、装飾古墳館の活用を図ることは重要である。新たな見学者やリピーターの獲得を図るためには、古墳館内の企画展示室やレクチャー室の有効利用を考える必要がある。春・秋の公開以外の時期に、文連加盟団体や個人の展覧会や文化活動などの利用が徐々にあらわれていることは好ましく。今後さらに増加させる方法を考えなくてはならないだろう。 また、基本的な入館者を増やすための方法として新たなイベントの開催があるが、共に考えなくてはならないのが広報の問題である。特にイベントの開催については、現状では、マンパワーに限りがあり、広報についても予算をかけることは難しく工夫が必要とされる。
--	---

収蔵資料の整理・保存とデータベース化の推進

事業名	収蔵資料データベース化推進事業
担当課係	社会教育・文化財振興係
事業概要	王塚古墳館所蔵の資料を整理・台帳化し適切な保存・保管を推進する。
事業実績	王塚古墳には、旧蔵や発掘、寄贈等による歴史的・文化的資料が数多く保管されている。それを逐次、保存整理しデータベース化を図る。今年度は、福岡県緊急雇用創出事業によりフィルム・テープ・図面類のデジタル化をおこなった。点数も膨大で 103,450 点の処理をおこなった。
総合評価	莫大な資料のため、現在の学芸員一人での作業では限界があり、完全なデータベースとはなっていない。今後大きな埋蔵物発掘等の作業が入らなければ良いが、保存整理までには相当の時間を要するものとする。 また、各分野での資料が別々の方法で整理されており、これらを統一するためのデータベースソフトの開発が必要である。 また、図面類でデジタル化できていない分もあり、今後の継続した取り組みが必要である。

埋蔵文化財の保存

事業名	埋蔵文化財の保存管理システム事業
担当課係	社会教育課・文化財振興係
事業概要	桂川町は、王塚古墳や天神山古墳に代表されるように多くの埋蔵文化財が所在する地域である。これらの埋蔵文化財を土地開発による破壊から未然に防ぐために、埋蔵文化財地理情報システムを取り入れ地番単位で遺跡情報が判別できるようにして遺跡の保護と開発をスムーズに行なおうとするものである。
事業実績	本年度、埋蔵文化財地理情報の基本システムを導入した。現在、次の段階として詳細なる遺跡データや追加情報を入力中である。
総合評価	今まで、紙ベースで埋蔵文化財の情報を管理していたが、電算システ

	ムの導入により地番単位での管理や履歴情報の確認が容易になり、埋蔵文化財の有無の照会等に際して迅速化が図られる。すべての情報が入力されるまで、次年度中を要するが、これに併せ土地開発と埋蔵文化財の調整ができるようマニュアルの作成等が必要となろう。
--	--

民俗文化財の保存・継承

事業名	民俗文化財の保存・継承事業
担当課係	社会教育・文化財振興係
事業概要	民俗文化財のなかでも、民俗芸能は地域の特色をあらわし地域の結びつきのひとつともなっている。しかし、最近では、少子化や価値観の変貌により、衰退や消滅の危機にさらされている地域も多い。これらの芸能を後世に伝えるためのひとつの方法として、記録等を行なうものである。そのなかでも本年度は、町内の多くの地区に伝承されている盆踊りを対象として基礎調査の初年度とした。
事業実績	民俗芸能の中でも、盆踊りは町内では盛んに行なわれているほうであると考えられていたが、アンケートの結果では、以前に比べ衰退が認められる。今年度は、町内の悉皆調査と7地区の基礎調査をおこなった。
総合評価	本年度は、基礎調査であるがアンケートや町内の盆踊りの一部を概観した結果、現状については概ね把握できているようだ。今後の課題として、専門的な記録(踊りの映像記録・唄の採譜等)も予算面を考慮しながら必要に応じ行なうべきであろう。また、町内には、急ぎ保存措置が必要と考えられる民俗行事等もあり、そちらへの対応についても取組みが必要とされる。

3－(2)

「生き生き桂川っ子」総合推進事業

事業の目的

- (1) 学校と家庭、地域社会、各種団体、関係機関などがともに協力・連携しあい、桂川町の児童・生徒に「確かな学力」「豊かな心」を育成する。
- (2) 本事業の取り組みを通して、児童・生徒の健全育成に向けた情報連携、行政連携が十分に機能する独自のネットワークを構築する。

事業の経過

5月26日	「生き生き桂川っ子」実務担当者会
6月 3日	事務局会
6月10日	実務担当者会 「協議会に向けて」
6月21日	協議会(第1回) 「平成22年度の取り組み」
6月28日	学校部会「児童会・生徒会のあいさつ運動について」
7月 6日	児童会・生徒会あいさつ運動(第1回)
7月12日	「110 番の家デモンストレーション」打ち合わせ会
7月30日	「110 番の家デモンストレーション」実施(桂川小学校)
8月20日	学校部会教職員研修会
9月 7日	児童会・生徒会あいさつ運動(第2回)
11月 9日	児童会・生徒会あいさつ運動(第3回)
12月 6日	「110 番の家デモンストレーション」実施(桂川東小学校)
1月18日	児童会・生徒会あいさつ運動(第4回)
2月 9日	実務担当者会 「協議会に向けて」
3月29日	協議会(第2回) 「平成22年度の総括と平成23年度の取り組み」

平成 22 年度「生き生き桂川っ子」総合推進事業協議会構成団体

構 成 団 体 名	役 職
教 育 委 員 会	教 育 長
桂 川 小 学 校	校 長
桂 川 東 小 学 校	校 長
桂 川 中 学 校	校 長
桂 川 町 小 中 P T A 連 絡 協 議 会	会 長
桂 川 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	事 務 局
桂 川 町 婦 人 会	会 長
けいせん「夢・人・未来塾」	塾 長
桂 川 町 分 館 長 会	豆 田 分 館 長
桂 川 中 学 校「おやじの会」	事 務 局 長
桂 川 町 子 ど も 会 指 導 者 連 絡 協 議 会	会 長
桂 川 町 青 少 年 補 導 員 会	副 会 長
桂 川 町 商 工 会	理 事
飯 塚 保 護 区 保 護 司 会 桂 川 支 部	支 部 長
民 生 児 童 委 員 協 議 会	主 任 児 童 委 員
桂 川 町 人 権 擁 護 委 員	代 表
ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ	会 長
桂 川 町 の 明 日 を 創 る 会	会 長
飯 塚 警 察 署	警 部 補 (桂 川 交 番)
桂 川 町 就 学 前 人 権 同 和 推 進 委 員 会	会 長
嘉 穂 ・ 鞍 手 保 健 福 祉 環 境 事 務 所	家 庭 児 童 相 談 員
田 川 児 童 相 談 所	桂 川 町 担 当 相 談 員
福 岡 県 立 嘉 穂 総 合 高 等 学 校	地 域 担 当 教 諭
健 康 福 祉 課	課 長
社 会 教 育 課	課 長
学 校 教 育 課	課 長